



Be the **Right ONE**

# 小名浜港の利用状況について

---

小名浜港セミナー in 東京  
2024年2月2日(金)



豊通リチウム株式会社  
TOYOTSU LITHIUM CORPORATION

*Lithium*

1. 会社概要
2. 事業スキーム
3. 生産プロセスの紹介
4. 水酸化リチウムについて
5. 物流スキーム
6. 実績と今後の利用拡大について
7. 小名浜港利用のメリット
8. 最後に

## 1. 会社概要

- ▶住所 : 福島県双葉郡楡葉町大字山田岡字仲丸1番地40  
(楡葉南工業団地 16番ロッド 約16,347m<sup>2</sup>)
- ▶設立日 : 2018年10月23日
- ▶代表者 : 代表取締役 社長 西郷剛史 (取締役5名、監査役1名)
- ▶資本金 : 20億円  
[出資比率] 豊田通商 25% : Arcadium Lithium 75%  
[議決権] 豊田通商 51% : Arcadium Lithium 49%
- ▶従業員数 : 64名 (2024年2月2日時点)
- ▶事業内容 : 高純度水酸化リチウムの製造、販売
- ▶生産能力 : 水酸化リチウム 10,000 トン/年
- ▶補助金 : 自立・帰還支援雇用創出企業立地補助金



## 2. 事業スキーム

SDJ SA :



アルゼンチン(771州)



炭酸リチウム(原料)

豊通リチウム株式会社 :



日本(福島県楢葉町)



水酸化リチウム(製品)

顧客：国内、海外

豊田通商グループ  
豊通マテリアル経由で販売



## 2. 事業スキーム

### 原料仕入

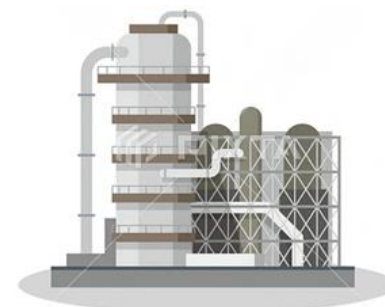
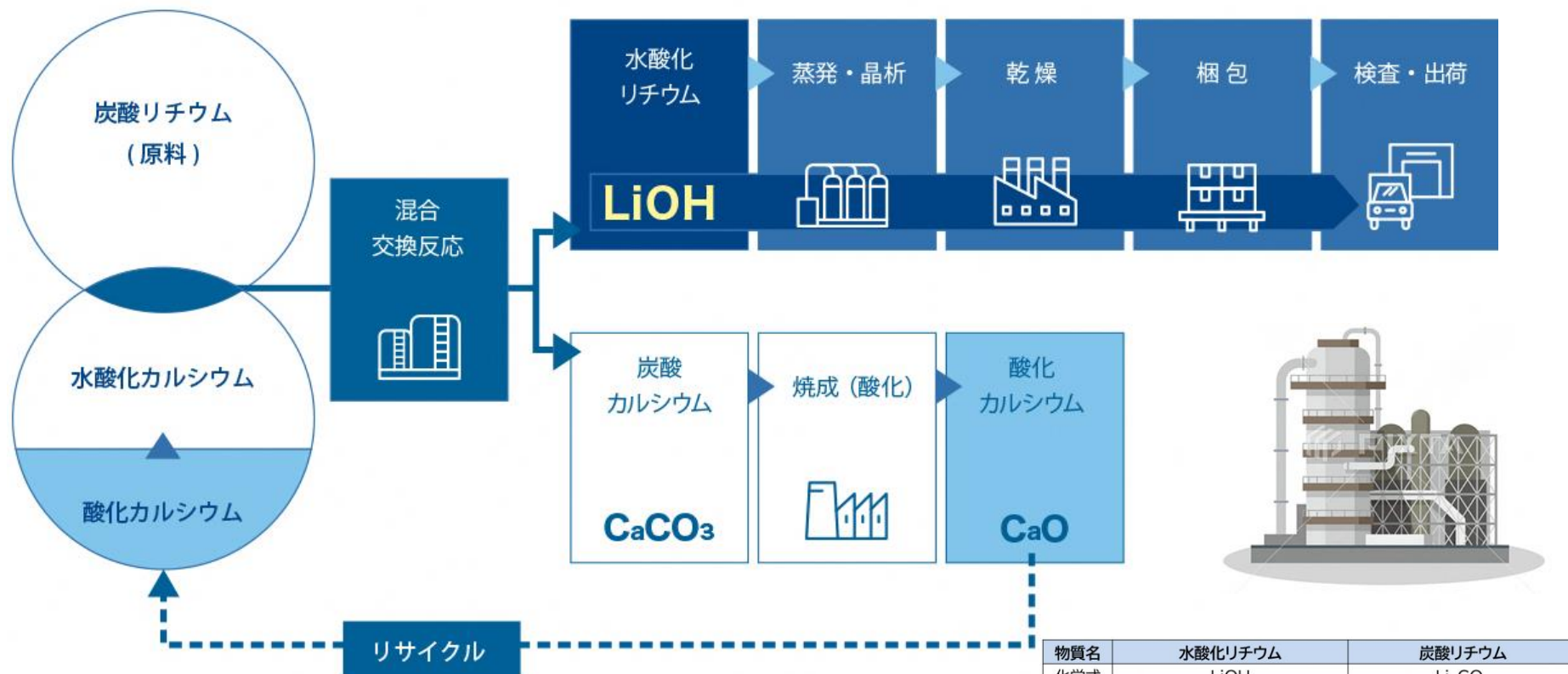
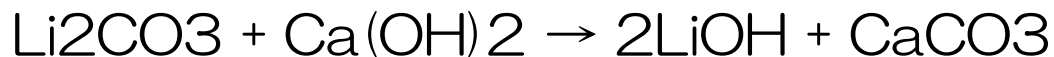
会社名	: Sales de Jujuy S.A. (SDJSA)
所在地	: アルゼンチン北西部 フファイ州オラロス塩湖
事業内容	: アルゼンチン オラロス塩湖からかん水を汲み上げ 炭酸リチウムを精製
主要製品	: 炭酸リチウム (電池グレード/工業グレード)
生産量	: 年間42,500トン
出資比率	: Arcadium Lithium (豪州)66.5%,豊田通商25%,JEMSE (亜国)8.5%
販売	: 豊田通商が生産物の100%販売権を保有



### 仕入・販売

会社名	: 豊通マテリアル株式会社
所在地	: 愛知県名古屋市中村区名駅4-11-27 シンフォニー豊田ビル14階
設立日	: 1999年5月25日
代表者	: 代表取締役 社長 浅井繁
資本金	: 9.8億円 (※豊田通商100%出資)
事業内容	: リチウム・レアアースの調達・販売 鉄鋼・非鉄金属材料の調達・販売 等
当社との関わり	: 炭酸リチウムの輸入、水酸化リチウムの販売

### 3. 生産プロセスの紹介



物質名	水酸化リチウム	炭酸リチウム
化学式	LiOH	Li <sub>2</sub> CO <sub>3</sub>
写真		
大きさ	100~1000μm	D <sub>90</sub> < 70 μm
色・形状	無色～白色の結晶または粉末 (グラニュー糖に似ている)	白色粉末 (片栗粉に似ている)
特徴	・水溶液：pH14(強アルカリ)	・水溶液：pH10~11(弱アルカリ)

## 4. 水酸化リチウムについて

### 用途

EV リチウムイオン電池



ガラス



グリース



アルミニウム



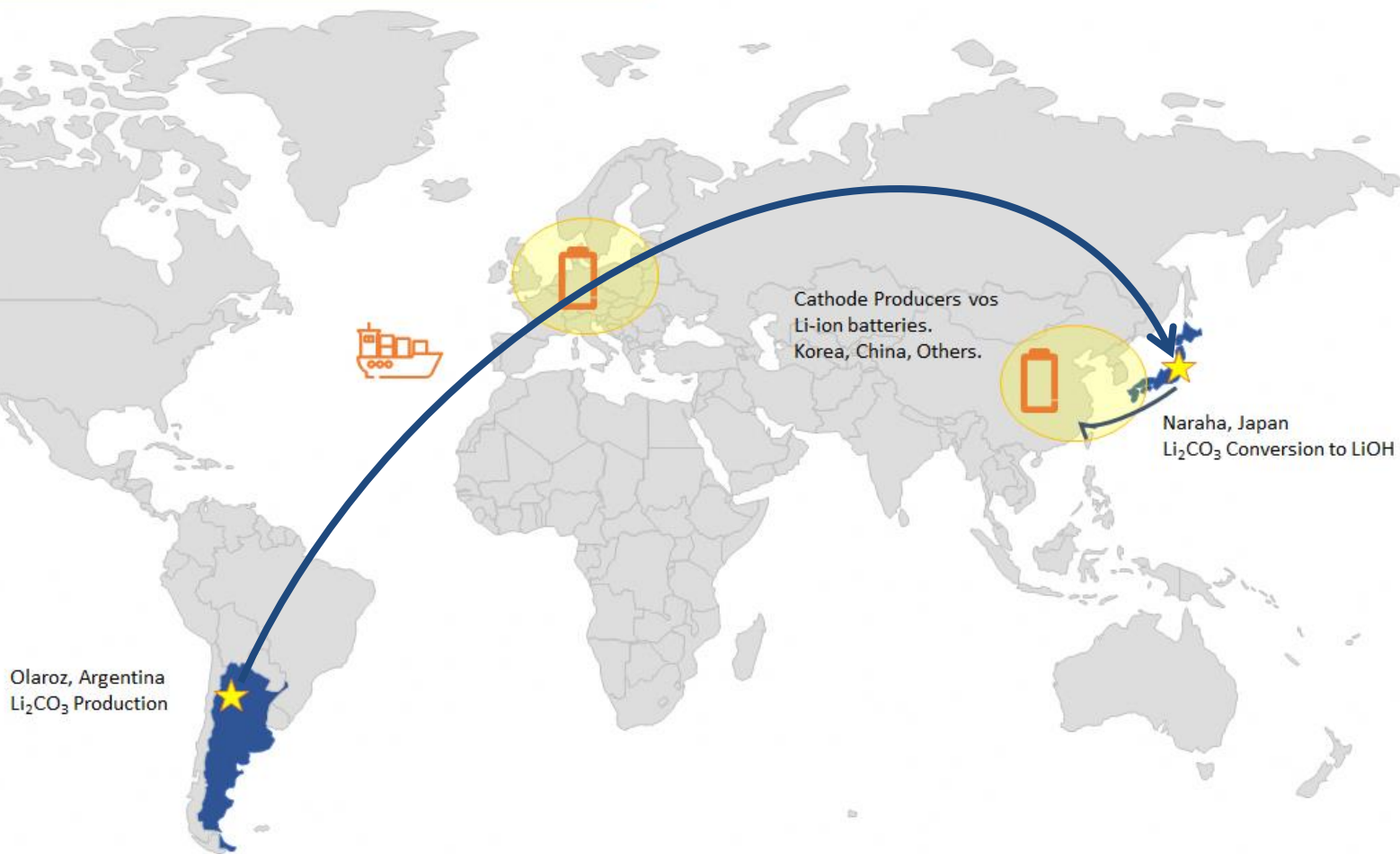
触媒



その他  
用途は多岐にわたる

## 5. 物流スキーム

輸入：原料 炭酸リチウム (アルゼンチン)  
輸出：製品 水酸化リチウム (アジア、ヨーロッパ)





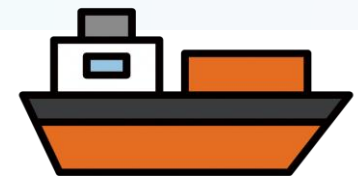
## 6. 実績と今後の利用拡大について

### 輸出（製品：水酸化リチウム）

<実績>

2023年度 小名浜港 \*\*\*トン

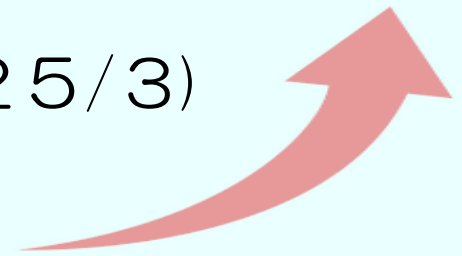
※2023年度は2023/4~2023/12までの実績



<今後の見込み>

2024年度（2024/4 - 2025/3）

安定稼働により拡大を見込む



## 6. 実績と今後の利用拡大について

### 輸入（原料：炭酸リチウム）

2023年度 小名浜港 \*\*\*トン

※2023年度は2023/4～2023/12までの実績

2021年10月より輸入を開始するも、コロナ禍でブエノスアイレス港～小名浜港への船会社のサービスが停止。

2023年夏にサービス再開後、小名浜港は2023年12月入港分にて、1回目の輸入トライアルを実施。

いわき小名浜コンテナサービス様のご支援と輸送日程などのトラブルもなく、小名浜港活用のメリットを感じたため今後の利用拡大を検討。



## 7. 小名浜港利用のメリット

### 小名浜港を利用するメリット

- ◆迅速でフレキシブルな対応と運用における提案・サポート体制
- ◆助成金の活用
- ◆国内物流コストと二酸化炭素排出量の削減

国内輸送ルート	距離	時間 (待機時間除く)	CO2排出量(t-CO2) ※1車当たり
京浜港 ⇔ 外部倉庫	約223km	約3時間10分	0.23
小名浜港 ⇔ 外部倉庫	約16km	約30分	0.02

京浜港から小名浜港に切り替えることにより国内輸送費と輸送時間、更には二酸化炭素排出量の削減につながる。

輸送距離（約207km）と輸送時間（約2時間40分）の削減  
CO2排出量は92.8%の削減



運送・物流業界の「2024年問題」で生じる諸問題におけるグループ会社を通じた取り組みの一つに繋がる。

日頃から、柔軟にサポートいただき感謝しております。

2024年度は輸出・輸入ともに更なる小名浜港活用を計画しておりますので、引き続きご支援をお願いいたします。

また、小名浜港活用のメリットにもなる助成金の継続・拡大及び、アジア向け以外の航路拡大にご尽力いただきたい。

ご清聴ありがとうございました。

2月吉日  
豊通リチウム株式会社